

ふつうな僧侶坊

特集

ふつうの お坊さんの生態

曹洞宗 小原泰明

マンガ:お坊さん日和。第17話「そこが聞きたい!どうなのお坊さん?」

突撃ッ!! 体験レポート:ハナ唄になるまでが理想の聲明講座

連載:しりとり法話バトル 第12回「因果応報」

仏教イベントカレンダー

39

曹洞宗 小原泰明

ふつうの
お坊さんの生態

お寺生まれのお寺育ち。
宗門大学卒業後、大本山で修行。
終わってすぐにお寺にもどり、
宗務所（お寺の役所）におつとめ。
ごくごくふつうの僧侶の、ふつうのお話。

文：小原泰明
text：Taimei Ohara
撮影：若林唯人
photographs：Tadato Wakabayashi

「自転車買ってやるから」

10歳のとき、父のこの言葉に釣られ、髪を剃る恥ずかしさより物欲が勝ち（笑）、得度式（僧侶になる式）を受けました（曹洞宗は10歳から得度できる）。

地方都市のお寺の長男に生まれ育った僕は、小さい頃から父である師匠についてお盆のお参りもお手伝い。まあこれも「おこづかい」目当てでした（ラジョンが欲しかった）。だから僧侶になったのも、身近な方の死がきっかけとか、信仰心が強かったとか、靈感が強いとか、決してそんなんじゃないんです。ごくふつうの、運動が苦手（特にマラソン）な、そして漫画を読んだり、図工が大好きな子どもでした。

中学・高校はどちらも地元の学校で、剣道部に所属し、生徒会長をつとめたりもしました。ここでもふつうの生徒だったなあ。

仏教のことは、高校の歴史の教科書程度しか知らなかったし。でも、ブツダが人間であること、それに「中道」の考え方や、苦行に見切りを付けられたことには興味を抱いていました。思春期のただ中でも、お寺を継ぐんだらうなあ、と漠然と思っただし、それに対してさしたる反抗心とかもなかった。

高校では、周りが受験勉強に

打ち込む中、「お寺を継ぐし、宗門大学（自分の宗派の仏教系大学）

に入れればいいや」と最初から思っていて、他の生徒のようには勉強せず。実際、担任に「おまえほど勉強しないやつは見たことがない」と怒られたし。

ともあれ無事に曹洞宗系の駒澤大学に入学。最初の2年は、得度した学生だけが入れられる寮にいたのですが、ここが最初は本当に厳しくて厳しくて……（最初の頃は、のちに修行をした永平寺よりきつかった）。何しろ学生なのに、朝5時半に起きて、坐禅と朝課（朝のおつとめ）、そして日によっては坐禅堂で作法に則った食事と、ほとんど修行道場と変わらない生活。でもお蔭で僧侶としての基本的な所作は、このときに身につけて、それは今でも感謝しています。

大学を卒業し、すぐに福井県の永平寺へ。圧倒的な厳しさ、寒さ、空腹、睡魔、緊張……。それらを耐え忍びながらの修行が始まります。とにかく毎日毎日、作法を覚え、坐禅・儀礼・掃除をするだけ。めちゃ厳しくて楽しくない運動会を毎日やっている感じ（笑）。「これが修行？何が本当の修行なの？」「自坊（実家のお寺）に戻って役に立つの？」「仏教って、生きるため

の「教えじゃないの？」としょつちゅう自問自答してました。永平寺での人間関係は恵まれていましたが、残念ながら仏教や修行について、誰かに聞けるような雰囲気もなく。それに勉強できる時間も余裕も体力もなかった。結局、こうした疑問が解決しないまま、2年2ヶ月の修行を終えることになりました。

一般的に、修行を終えるというのと「一人前」「ゴール(または完成)」というイメージを持たれるかもしれませんが、もちろん、ある側面において、それはその通りです。しかし、修行について、仏教について理解の深まりがあったかという点、内実はお寒い限りでした。

ともあれ、厳しい修行を終えて実家のお寺に戻り、しばらくは解放感からか毎日が楽しくて、マリオのスター状態(笑)。永平寺での価値観が染みつき、儀礼をきちんとなせば、それだけで良いという無自省な毎日。さらには、ほどなくして宗務所の職員に抜擢されます。

外見的には、まさに曹洞宗僧侶の王道パターン。宗門大学+僧侶の寮↓大本山の修行↓宗務所職員という「王道」を行けば行くほど、心の中では「現実の、直面している仏教」と「自分が

理想とする仏教」の葛藤、ひずみがひつそりと生まれます。「なぜこんな葛藤が生まれてきたのか」……少し時間を巻き戻します。

中学生のときのこと、一つはつきり覚えていたことがあって。学校からの帰り道、夕日を見ながら用水路の隣を歩いていると、突然「自分が自分であること」が分からなくなり「この景色が存在していること」がとても不思議に思えた瞬間があったんです。それからしばらくは、他の人がこのことを考えずに(もしくは考えているそぶりを見せず)生活していることに違和感を覚えるようになります。次第にそれは、生きることの意味とは何か? いかんに生きるべきか? よく生きるとはどういうことか? という疑問に変わっていききました。

その後(高校の教科書に載っている程度の知識だけ)哲学やブツダ(ここでは原始仏教)に強く惹かれます。僕の原因風景であるさつきの問いに、ブツダという「生身の人間」が説かれた「生きるための教え」こそが答えてくれるんじゃないか、という過剰な期待があった。

一方で、大学に進み、講義で聞くのは煩雑な教理や宗旨、ど

こか現実離れた形而上学的論説ばかり。単語としての「只管打坐」や「教外別伝」とか、書名としての『正法眼蔵』『六祖壇經』といったことはかろうじて覚えたものの、説明のための説明に聞こえてしまい、「自分とは何か」という問いからの隔たりを感じていました。それに若かったからか、原始仏教からすれば変容してしまった現代の宗派仏教に対する反発心も強かったのかも。

学生寮や永平寺での修行、そして実家のお寺での葬儀や法事という「現実の仏教」と自分が抱いている「疑問に答えてくれる理想の仏教」の間に、どうしようもない乖離があった。にもかかわらず、「外見は王道、内面は葛藤」というダブルスタンダードで来てしまった。お寺を継ぐことに抵抗はなかった。でも、現実の仏教に対する強い違和感が、ずつとありました。

数年前のある日、何かをググっているときに偶然『つらつら日暮らし』という曹洞宗の僧侶が書かれているブログがヒットします。このブログとの出会いが、僕の疑問を氷解させ、その後の歩みを一変させてくれました。実のところ、内容は難解で、ときにま

ったく理解できない記事もあった。それでも、毎日むさぼるように何時間も、一番古い記事から何度も何度も読んでいた。今考えると、なんで読むのをやめなかつたかという点、たぶん理解できた部分はわずかだったけど、どれも素晴らしいものだった。だからわからない部分も、きつと素晴らしいと思ってる。だからだと思えます。



◀得度式での一コマ。左端が師匠(実父)。このときは春休みだったので、友人たちも見に来てくれました



あれほど毛嫌いしていた曹洞宗学にもう一度向き合ってみようと思ったんです。そしたら……もう、本当に、面白かった！

じゃあ疑問を氷解させたターニングポイントって何だったのか。ちよつとわかりにくい言い方だけ「原始仏教を盾にとつて現在の日本仏教を攻撃する方への批判」という記事がいくつもあったんですね。最初はむしろこのブロガーさん（曹洞宗僧侶）の書くことより、記事にコメントを寄せる批判者（主に原始仏教やテラーワダの信奉者）の肩ばかり持ってたし、同調もしてた。でも他の記事も含めて何度も読んでいくうちに、「この批判者って僕のことだ」と気づいた。次第に、自分は原始仏教が好きなんじゃなくて、原始仏教という虎の威を借りて、今の仏教を嫌う（＝受け入れられない）言い訳にしてたんだ、と思つたんですね。言うなれば、新聞記事をチョコキ切り取って犯罪予告を作るみたいなんで、新聞にはまったくそんなこと書いてないぞ、みたいな。この「自分のいやらしさ」に気がついちゃった。

仕立て上げてた自分」の呪縛が解けた気がしました。同時に、自分の学びがいかにか浅いものだったかを痛切に感じました。あらゆる点で学びが足りなかった。だから修行についても、現実の葬儀や法事も、宗学も全部毛嫌いして、歩み寄れなかった。そこから、もう一回、曹洞宗に向き合ってみようと思つたんです。そうしたら……自分が思つてたよりもずっと宗学は深遠で広大で、全然わからなかった（笑）。だけど、もう、本当に想像をはるかに超えるほど面白かった！

たとえるならば、夜道を運転しているとしますよね。このヘッドライトが当たっている部分だけが、（自分は）世界全体だと思ひ込んで疑われない。だから本当の世界を見ることができず、「いい大学出て、いい会社に入るのが幸せ」とか「このタイミングで結婚して云々」とか、そういう価値観（ライトの当たっている部分）だけで世界を設定しちゃって迷ったり苦しんでしまう。「自分色眼鏡」をかけたまま自分探しだとか、生き方を求めようとかやってるのは、この「ライトが当たる部分」を広くしたり、遠くにしたりするだけのこと、結局は「ライトが当たる部分が世界全体（常識とか、自分と言ってもいい）」だと信じてるだけ。でも、当たり前だけど、それは違う。ライトを消して（＝常識だと思ってるものを手放して）初めて「そっか、世界ってこんな風だったんだ！」ってわかると思ふんです（たとえ話です）、「暗くてよく見えないよ」というツッコミはナシでお願いします。なんとというか、「自分が（ライトの当たった部分を）見ている」んじゃないかと、「世界が自分に見せてくれている」ことに気がついたという感じかなあ。こういう「手放し感」というのかな、これがすごく斬新で面白かった（間違ってるかもしれませんが）。

道元禪師（道元）が書かれた『正法眼蔵』の中で、最も有名で難解といわれる「現成公案」巻に「自己をはこびて、万法を修証するを迷いとす。万法すすみて、自己を修証するは悟りなり」というフレーズがあつて、これなんかまさに自分が一生懸命ライトであつちこつちを照らしまくつて「さとりはどこじや〜！」つてやつてること自体が迷いなわけですよ。でも、実は世の中の人って、みんなこうやって過ごしてませんか？

結局のところ、本当にふつうの僧侶らしく、自分の宗派に戻つてきました（笑）。たくさんの回り道をしたけれど、道元禪師も「仏教を会得する（当てる）ことは難しい。でも昨日までの百の、はずれ」の力で、今日一つの、当たりがある」（「説心説性」巻）とおっしゃってます。もちろん、学びは始まつたばかりで、僕もわからないことだらけ。「道は無窮」（道は無限）って言うし、たぶん死ぬその瞬間まで、to be continued”ってやつですよ。

小原泰明（おはら・たいめい）
1980年、愛知県豊橋市生まれ。駒澤大学仏教学部禅学科を卒業後、大本山永平寺にて修行。2006年、愛知県第二宗務所書記に就任。2009年より満目院住職。2015年より愛知県第二宗務所第七教区長・宗務所布教師。最近ウクレレ始めました

お坊さん日和。

だ..
17話
 “そこが聞きたい!
 どうなのお坊さん?..
 まんか
 みっざわ ひろあき



サチさんはどいへ...? マズム。

それいけ!
お寺ガールたち!

突撃ツ!! 体験レポート



読経するお坊さんたちの声ってステキ、と聲明(しょうみょう)に憧れを感じていた私。そんな自分も体験ができるなんて!? 胸躍らせながら参加した「ハナ唄聲明」。会場のお寺は街の喧騒が嘘のような雰囲気、俄然テンションが上がってくる。印象的な講座名は、「ハナ唄になるまでが理想の聲明講座」とのこと。聲明の歴史など、興味深いお話もたっぷり、知識からも聲明の世界に近づけるのがうれしい。西洋の楽譜とはまったく違う表記の譜面にも、丁寧な解説がある。

好評につき次回開催決定!!

「ハナ唄になるまでが理想の聲明講座」 3月26日(土)15:30~
@浄土宗 龍岸寺
講師は山田真悟、福山智昭(ともに浄土真宗本願寺派僧侶) 参加費1,000円(フリスタ会員800円)
講師がお配りする資料は永久保存版!! 皆さまのご参加をお待ちしております。

※詳細は本誌P.9をご覧ください

初めはチンプンカンプンだった譜が読めたことに感動していると、「では、みんなで声に出してやってみましょう」と講師のお坊さん。緊張しながら、独特の音程に苦心しつつ声を出してみる。すると、次第にこわばっていた体から力が抜け、みんなと声を合わせる心地よさが、じわじわと湧いてきた。
「あ、なんか楽しいなあ」
「お経が少し近くに感じるかも……」
憧れが親しみに近づいてきた頃、終了時間を迎えた。あつという間の2時間半だった。「もつとやってみたいいな……」と思っていたら、うれしいことに今後も開催していくとのこと! 次回以降も楽しみにしたい。

レポーター

宮本亜季

仏教の魅力に惹かれてイベント参加したり企画したり。まるいものに目がありません♡

笑えば、笑顔が返ってくるものね。

第12回

しりとり 法話バトル

お題 因果応報

「いんがおうほう」

「因果応報」というと、今では「悪いことをしたら悪いことが返ってくる」というような意味で使われることが多いのですが、もちろん善い意味も含まれます。善いことをしたら、善いことが返ってくるのも「因果応報」です。

「でも、努力をしても報われるとは限らないじゃないか」という人もいます。確かに、自分の立てた目標に届かずに、「報われなかった」と思うことがあるかもしれません。ただ、そのときに、せっかくなので積み上げてきたものを「無駄な努力だった」と捨ててしまふのは、非常にもったいないのです。思っていた結果とは違っても、それを「イヤだなあ」という不足の心ではなく、「仕方ない、またがんばるか」と前向きに受け止め、さらに「このような縁をいただいて、ありがたかった」という感謝

今号の勝者はこの方!

佐山拓郎(さやま・たくろう)

浄土系単立天恩山五百羅漢寺住職。昭和のある年の秋彼岸、東京下町の小さなお寺で生まれる。おとめ座のB型。右投げ右打ち。縁あって目黒の羅漢寺の住職となる。「しりとり法話3連覇で、殿堂入りを目指します!」

残念ながら掲載に至らなかった法話と、審査員の評価はウェブで公開しております。
http://www.freemonk.net

Judge
Eriko Iimura, Maho Nakajima, Miki Goto, Yukari Shimada

の心にしていくことで、精一杯努力してきた経験が財産になります。そのときの結果も、仏さまからいただいた「縁」です。それを良縁に結び付けられるのは、自分しかないのです。
「失敗なんかしてない。うまくいかない方法を見つけただけだ」とは、エジソンの名言です。世紀の天才は、前向きな感謝の気持ちから生まれました。

次回のお題は 「ウェブ」

法話募集のお知らせ

応募資格 僧侶(宗派不問)
次回お題 ウェブ(字数470字)
締切 2016年2月29日
応募先 info@freemonk.net
たくさんのご応募をお待ちしております。

EVENT CALENDAR



2月
3
水曜

3月
2
水曜

仏教ヨガ講座

Let's begin ヨガ Life!
ヨガで心と身体をととのえましょう!

19:00~20:30 500円 定員25名(男女不問)
講師/Yuuka(ガッソ有香・山形県誓願寺浄土宗教師)
着替え持参 ▶仏教伝道センタービル8F「和」の間



2月
16
火曜

3月
22
火曜

働く人のための坐禅会

仕事帰りに疲れた心と頭の整理をしませんか?
お一人でも気軽にご参加ください。

20:00~21:30(坐禅60分・お茶会20分) 500円
定員30名(男女不問) 講師/阿純章師(天台宗)
▶仏教伝道センタービル7F「緑」の間



2月
25
木曜

3月
31
木曜

仏教聖典を初歩英語で学ぶ会

テーマは『ユーモア、マンガ、歌に学ぶ仏教』。
簡単な英単語を使って、仏教を学んでみませんか?

18:30~20:00 各回500円 定員40名 講師/ケネス・
タナカ氏(武蔵野大学教授・仏教教育部長、日本仏教心理
学会会長) ▶仏教伝道センタービル8F



公益財団法人 仏教伝道協会 BUKKYO DENDO KYOKAI

上記イベントは事前申込が必要です。お電話、ウェブサイト、Facebookまで。

TEL:03-3455-5851 〒108-0014 東京都港区芝4-3-14
FAX:03-3798-2758 JR[田町]駅 三田口(西口) 徒歩8分
bdk@bdk.or.jp 都営地下鉄 三田線・浅草線「三田」駅 A9番出口 徒歩2分
http://www.bdk.or.jp <https://www.facebook.com/bukkyodendokyokai>

2月
27
土曜

円空仏像彫刻にチャレンジ! @福昌寺 ~お守り袋に入る千体仏~

神奈川

どなたからも愛される仏像、それが円空仏です。ただ一心に彫ることによって自然と仏像が表れてきます。技術は彫りながら覚えていきます。彫ることによって心も深まるでしょう。人気の高い円空仏を見本とし、木曾ヒノキを使い、お守り袋に入る手のひらサイズの仏像を彫りあげます。初めての方でもステキなマイ仏さまを彫りあげることができます。ぜひこの機会に念持仏に挑戦してみたいかがでしょうか。

13:30~開場 14:00~ワークショップ 16:45~円空仏の開眼法要
4,000円 定員12名 講師/林雄一(彫刻師)
申込/<http://peatix.com/event/138871>
▶天台宗 福昌寺 本堂(神奈川県川崎市多摩区菅北浦5-3-1)
京王電鉄 京王線「京王稲田堤」駅 徒歩15分、JR 南武線「稲田堤」駅 徒歩10分
※彫刻道具は会場にてご用意しております。お申し込み後のキャンセルは承りかねます。
ご了承ください。ワークショップ終了後の開眼法要(魂入れ)ご要望の方は、参加費とは別途志納金(目安として3,000円~)をご用意いただき当日お納めください。
<http://www.machitera.net/kanagawa-fukushoji/285/>

2月
13
土曜

「〜」(ホニヤララ)をめぐる 宗教間対話 #06 特別編

京都

同じ一つの物事に対する見方は、宗教や世界観によって共通点もあれば違う点もあります。身近な物事について、仏教とキリスト教ではどんな見方をするのでしょうか? 第6回は特別編として、事前に特定のテーマは設けず、仏教とキリスト教についてのご質問を何でも受け付けます。僧侶とキリスト教徒の二人(若林唯人・波勢邦生)が、皆さんと一緒に対話・交流をしながらお答えします。

15:00~17:00 参加費/恩送り方式
(次回に参加される方のために任意の参加費をお納めください)
定員8名
話題提供/若林唯人、波勢邦生
主催/フリースタイルな僧侶たち
申込/<http://www.freemonk.net/events>
▶フリースタイルな僧侶たち事務所
(京都府京都市下京区東若松町795-2 SOLUM 1F C号室)
JR「京都」駅、京都市営地下鉄 烏丸線「京都」駅 徒歩10分
※話のテーマにしたいご質問等がございましたら、申込時にお知らせください。

EVENT CALENDAR



大阪


3月
13
日曜

**つながりをデザインするお寺ライブ
月の明かりコンサート**

東日本大震災より5年、「見える支援」をテーマに、東北とつながってきた「月の明かりコンサート」も5回目を迎えることになりました。ご来場の皆さまの募金を楽器に変え、南三陸の「子ども音楽チーム」に届けるスタイルのチャリティーライブです。今回もお寺の本堂で、アーティストたちの熱い歌声が響きます。歌があり、笑いがあり、トークがあり、それぞれの思いがある。そして、そこには、「祈り」がある。震災時刻に合わせて、祈りと法話を実施します。ぜひ、おいでやす。

11:00～19:00(どの時間帯も入退場自由です)
主催/月の明かりコンサート実行委員会
▶高野山真言宗 石尾山弘法寺
(大阪府和泉市万町1022)
泉北高速鉄道「和泉中央」駅 徒歩10分
※お車の方は近隣の有料駐車場をご利用ください。
その他詳細は、メール、ウェブサイトにて。
kobozhi@yahoo.co.jp <http://www.kobozhi.com>

月の明かりコンサート
Facebookページ



東京

3月
12
土曜

お財布供養大祭

年に数回ある天赦日(てんしゃにち)に、皆さまの使わなくなったお財布を、今までの感謝も込めてご供養しております。今回は、財布の日(3・12)ということで、年に一度の大祭です。ご供養を終えたお財布は、障がい者施設にて分解し、お焚き上げいたします。お預かりしたご供養料は、障がい者の雇用・自立支援に役立てています。新しいお財布に入れる金運お守り「巡富」も500円でお分けしております(今回は大祭なのでお守りは無料です)。

11:00～
2,000円(お財布一つにつき)
申込/随時(書留などによる郵送も可)
▶五百羅漢寺(東京都目黒区下目黒3-20-11)
東急電鉄 目黒線「不動前」駅 徒歩8分、JR「目黒」駅 徒歩12分
その他詳細はお電話、ウェブサイト、Facebookにて。
☎03-3792-6751 <http://www.rakan.or.jp>

京都

3月
27
日曜

アラサー僧侶とゆるーく話す会

アラサーの僧侶数名と、フラットに話をするゆるーい会です。話のテーマはあなたの話したいこと。仕事や恋愛、家庭のことなど、普通の生活の中でモヤモヤしていることや、とにかく誰かに聞いてほしいことなど、何でも結構です。もちろん、単純にお坊さんと話がしてみたいという方や、お坊さんの謎な生態・仏教の考え方にご興味のある方、ただただまったりした時間を過ごしたい方も歓迎です。京町家でお茶とお菓子をいただきながら、お坊さんと一緒に考えてみませんか? どなたでもご参加いただけます。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

14:30～17:00
1,000円(フリスタ会員は800円) 定員10名
主催/フリースタイルな僧侶たち
申込/<http://www.freemonk.net/events>
▶amu KYOTO(京都府京都市下京区紅葉町364)
JR「京都」駅 徒歩10分

京都

3月
26
土曜

**ハナ唄になるまでが理想の
聲明(しょうみょう)講座**

私たちの身の回りにあふれる音楽のルーツは宗教音楽にあります。西洋音楽なら讃美歌が有名ですが、日本のお能や狂言などは、念仏踊りや聲明(唄うお経)がルーツだそうです。そんな日本に伝来して1200年の聲明が、あなたのハナからメロディにのって出てくるまでが理想の超ビギナー向け講座。お寺で声を出すことに興味がある方はお気軽にどうぞ(修行して認められる“聲明僧”の制度がない浄土真宗僧侶が講師を担当します。みんなでお勤めする浄土真宗ならではのお経を、ゆるーく実際に唱える講座です)。

15:30～17:00 1,000円(フリスタ会員は800円) 定員20名
講師/山田真悟、福山智昭
主催/フリースタイルな僧侶たち
申込/<http://www.freemonk.net/events>
▶浄土宗 龍岸寺
(京都府京都市下京区八条坊門町564) JR「京都」駅 徒歩10分
※筆記用具をご持参ください。



編集後記

「自分色眼鏡」が一人ひとり違うからだろう。同じ言葉でも異なるイメージを持つことがある。「これが、ふつうの“僧侶?”と思われた読者の方もおられると思う。僧侶の私は、宗派は違えど、やはり共感するところが多かった。

私もお寺の長男で「お寺を継ぐんだろな」と思っていたし、宗派の教えを学び始めた頃は今の自分に何の意味があるのかピンとこなかったけど、峠を越えると「本当に面白く」なってきた。

テレビの食レポを見ていると、口に入れた瞬間、「おいし〜!」と語り始める。でも例えばお豆腐は、一口食べただけだと味の深みは分らない。しばらく食べ続けるうちに、ふと向こうから味が聞こえてくる。仏教の教えは、この後者のような「味」だと思う。

仏教の「眼鏡」を通すと、世界はまた違って見える。これがいいんだけどな。お年寄りならお豆腐も食べ続けてくださるかもしれないけど、今の若い方にお願ひするのは酷だと思う。興味を持たれた今を生きる方のために、素材の味はそのままに、一口目から「おいしい」と感じられるように味を調え、食べ続けたいかなる場を整えられるように、微力ながらも力を尽くしていきたい。

末筆乍ら、特集記事を寄稿して下さった小原泰明さんをはじめ、今号の発行のためにご苦労くださったすべての方に、心より感謝申し上げます。

フリースタイルな僧侶たち
代表 若林唯人

寺院

浄土宗

安心院(京都府八幡市)／安楽寺(京都府南丹市)／延命寺(大阪府堺市堺区)／吉祥寺(山口県萩市)／九品寺(京都府京都市南区)／教安寺(福岡県福岡市)／慶蔵院(三重県伊勢市)／光照院(東京都台東区)／金剛寺(京都府京都市東山区)／西明寺(兵庫県尼崎市)／西楽寺(京都府京都市伏見区)／西林寺(大阪府泉南郡)／浄栄寺(滋賀県東近江市)／正覚寺(青森県青森市)／正善寺(兵庫県伊丹市)／勝楽寺(東京都町田市)／新善光寺(北海道札幌市中央区)／崇福寺(滋賀県甲賀市)／善願寺(滋賀県甲賀市)／善道寺(北海道札幌市豊平区)／臺鏡寺(大阪府枚方市)／檀王法林寺(京都府京都市左京区)／潮音寺(東京都大島町)／長壽院(東京都台東区)／梅窓院(東京都港区)／法岸寺(静岡県静岡市清水区)／寶松院(東京都港区)／法善寺(大阪府大阪市中央区)／無量光寺(鳥取県鳥取市)／龍岸寺(京都府京都市下京区)

浄土宗西山禅林寺派

光明院・田中医院(京都府京都市中京区)／宝泉寺(愛知県津島市)

浄土真宗本願寺派

光照寺(大阪府大阪市東淀川区)／光徳寺(福岡県みやま市)／光明寺(奈良県吉野郡)／浄元寺(兵庫県尼崎市)／信覚寺(福岡県朝倉郡)／崇興寺(広島県福山市)

真宗大谷派

称讚寺(新潟県長岡市)／正蓮寺(静岡県伊豆の国市)／超覚寺(広島県広島市中区)／宝皇寺(北海道函館市)

浄土真宗東本願寺派

緑泉寺(東京都台東区)

天台宗

圓鏡寺(東京都目黒区)／大圓寺(東京都目黒区)／本覺寺(神奈川県横浜市鶴見区)

高野山真言宗

弘法寺(大阪府和泉市)／薬師院(大阪府岸和田市)

臨済宗妙心寺派

円光寺(東京都台東区)／宜雲寺(東京都江東区)／陽岳寺(東京都江東区)／龍雲寺(東京都世田谷区)

臨済宗建長寺派

輝一寺(静岡県賀茂郡)

曹洞宗

瑞生寺(静岡県浜松市中区)／南詢寺(大阪府守口市)

日蓮宗

法華寺(京都府亀岡市)

時宗

正法寺(京都府京都市東山区)

単立

五百羅漢寺(東京都目黒区)／瑞聖寺(東京都港区)／法然院(京都府京都市左京区)

企業・団体・店舗

一般社団法人 日本石材産業協会(東京都千代田区)／逸藤新兵衛商店(京都府京都市下京区)／学校法人 鎮西学園(熊本県熊本市中央区)／株式会社 アールアンドダブリュー(京都府京都市中京区)／株式会社 京美仏像(京都府京都市北区)／株式会社 薫寿堂(兵庫県神戸市)／株式会社 作島(京都府京都市下京区)／京都坊主BAR(京都府京都市中京区)／茶坊えにし(京都府京都市東山区)／寺院コム(京都府京都市左京区)／大正大学(東京都豊島区)／豊田愛山堂(京都府京都市東山区)／浜屋株式会社(兵庫県姫路市)

*各宗派五十音順

フリースタイルな僧侶たちとは

www.freemonk.net

「仏教＝葬式」だとあなたは思っていますか？しかし、経典をひもといてみても、お葬式について語られていることはほとんどありません。そこには、「なぜ私たちの苦しみは起こるのか」「正しい知見を得るにはどうすればいいのか」といった“生きていくための教え”が多く説かれています。

人の心を狂わせる怖いものとして宗教が遠ざけられ、お葬式や法事は簡略化される傾向にある今日ですが、自分の弱い心にふたをして、やがて訪れる死から目を背けても、充実した人生はありえませんが、仏教の持つポテンシャルをうまく引き出し、自分自身に向き合うことによってこそ、これからの社会が確かに形づくられてくると私たちは信じています。「フリースタイル」という言葉を掲げたのは、仏教の持つ2500年の伝統を敬いつつも、ゼロベースで日本仏教の未来を模

索しようとしてのことです。本誌の発行(年間6回・偶数月1日発行)もまた、その試みのひとつです。街中のカフェやバーなどで手に取った瞬間に、安らぎや気づきがあることを願って発行しています。配布にご協力いただける店舗・施設を随時募集しています。

私たちは、30歳前後の若い僧侶たちが中心になって活動しているため、「仏教の再生」のつもりが、「伝統からの逸脱」につながることもあるかもしれません。その際には、皆さまのご指摘をお待ちし、誤りについては改めながら大胆な試みを続けていくつもりです。これからの時代を生きやすいものにするため、ご協力をよろしくお願いいたします。志を同じくする僧侶や誌面づくりやイベント実施に協力していただけるボランティアスタッフもお待ちしています。まずは気軽にお問い合わせください。

私たちの活動に共感し、 応援して下さる方を大募集!!

サポーターの皆さまには、年間6回発行予定の本誌をお届けいたします。また各種主催イベントにおいて優待いたします。法人サポーターの方々は、誌面にお名前を掲載させていただきます。

協賛年会費：5,000円(個人)
30,000円(法人)

■会費振込先

三井住友銀行 園田支店(422) 普通 5092943
フリースタイルな僧侶たち 代表 若林唯人

※お振り込みの際にはあらかじめご連絡ください

- ・Telでのお問い合わせ ☎050-5583-4330
- ・Faxでのお問い合わせ ☎050-3730-9864
- ・E-mailでのお問い合わせ info@freemonk.net

「フリースタイルな僧侶たち」 バックナンバー(電子版)のご案内

PCはもちろん、スマートフォンやタブレットなど、モバイル端末でバックナンバーを閲覧可能(無料)。

<http://p.booklog.jp/users/freemonk?s=1>

冬用各宗派衣価格(税込)

・布袍化織地	18,800円～	・黒直綴化織地	27,000円～
・改良衣化織地	17,500円～	・白衣テトロンウール	9,950円～
・間衣化織地	17,500円～	・白衣高級メガーナ京仕立	16,800円～
・黒衣化織地	30,500円～	・足袋	950円～

匠のお安いクリーニング お電話お待ちしております

法衣・袈裟製造直販

丸西宗教織物株式会社

京都市下京区堀川通正面上ル(西本願寺前店)
☎0120-075-024

築90年の京町屋で本格タイ料理

佛沙羅館

Tel:075-361-4535

<http://r.gnavi.co.jp/k024400/>

住所:京都府京都市下京区木屋町通松原上ル美濃屋町173-1

祇園ギャラリー源右衛門

Tel:075-533-6088

京都市東山区祇園町南側555番地(祇園ホテル1F)

お念珠取り揃えております





Hamaia
浜屋は
関西最大級の
お仏壇・お仏具・
墓石の専門店です。

やすらぎの世界を創る



浜屋

お仏壇・お仏具・お仏具・お墓・ギフトのご相談は
通話料無料 浜屋姫路本社フリーダイヤル
0120-1616-94
●受付時間/午前10時～午後6時30分まで

関西最大級の39店舗、安心のネットワーク。あ近くの浜屋へご来店下さい。

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| ■奈良王寺店/☎(0745)31-2211代 | ■尼崎市役所前店/☎(06)6414-3900代 |
| ■奈良生駒店/☎(0743)83-2211代 | ■尼崎店/☎(06)6413-2211代 |
| ■岸和田店/☎(072)445-2211代 | ■宝塚店/☎(0797)83-4500代 |
| ■堺鳳店/☎(072)261-2211代 | ■西宮店/☎(0798)51-2211代 |
| ■藤井寺店/☎(072)954-2211代 | ■西宮駅前店/☎(0798)34-2280代 |
| ■駒川店/☎(06)6709-2211代 | ■芦屋店/☎(0797)35-1194代 |
| ■八尾久宝寺店/☎(072)925-2200代 | ■三田店/☎(079)559-2211代 |
| ■中環東大阪店/☎(06)6783-2211代 | ■神戸本店/☎(078)371-2211代 |
| ■姫屋川本店/☎(072)829-2211代 | ■新長田店/☎(078)621-2211代 |
| ■枚方家具店地区店/☎(072)836-2211代 | ■明石店/☎(078)927-2211代 |
| ■高槻店/☎(072)683-2211代 | ■加古川店/☎(079)426-2211代 |
| ■茨木店/☎(072)622-2211代 | ■高砂店/☎(079)443-2211代 |
| ■箕面店/☎(072)726-5522代 | ■姫路本店/☎(079)282-2211代 |
| ■豊中熊野店/☎(06)6853-2220代 | ■福崎店/☎(0790)22-2211代 |
| ■豊中店/☎(06)6848-2211代 | ■網干店/☎(079)272-2211代 |
| ■川西店/☎(072)759-2201代 | ■龍野店/☎(0791)62-2235代 |
| ■北伊丹店/☎(072)780-5211代 | ■赤穂店/☎(0791)45-2211代 |
| ■伊丹店/☎(072)775-2211代 | ■山崎店/☎(0790)62-5171代 |
| ■東園田店/☎(06)4960-4000代 | ■浜屋木工芸館/☎(079)293-2211代 |

■本社 姫路市南畝町2丁目31番地 TEL 079-288-2211(代)

広告募集のお知らせ

「フリースタイルな僧侶たち」に掲載する広告を募集しております。

- 媒体情報 A4サイズ/12頁/全頁フルカラー
- 発行部数 15,000部(2016年2月現在)
- 設置箇所 寺院、書店、カフェ、その他店舗
(設置箇所はウェブサイトで確認できます)

興味をもたれた方は一度、お問い合わせください。
info@freemonk.net

お寺の広報をサポートします

弊誌制作チームが、印刷物の「デザイン」からお寺を魅せるノウハウを提供します。お寺の想いを地域社会にスムーズに伝えようとするとき、洗練された「デザイン」はきっとその助けになります。

- 取扱い 名刺/封筒/チラシ/ポスター/冊子

興味をもたれた方は一度、お問い合わせください。
info@freemonk.net

公益財団法人 浄土宗ともいき財団

心といのちの電話相談室

☎ 03-3436-6823

相談受付:毎週月曜日 10:00~16:00

国民休暇、盆、年末年始は休業いたします

あなたを支えたいと願う人がいます。つらいお気持ち、おはなしてください

『心といのちの電話相談室』の特徴

研修を受けたお坊さん、
お寺の奥さんがお話を伺います

多彩なご相談に対応します

周囲の方もご相談ください

『心といのちの電話相談室』の約束

秘密は必ず守ります

勧誘はしません

無料でお受けします

『心といのちの電話相談室』事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 公益財団法人浄土宗ともいき財団内
TEL 03-3436-3353 FAX 03-5472-4878 ホームページ <http://tomoiki.jp>

詳しくは

心といのちの電話相談室

検索

フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン VOL.39
2016年2月1日発行

総指揮・編集責任者
若林唯人

特集記事寄稿
小原泰明

デザイン
梅本龍青(NILOTPALA)

マンガ
光澤裕頭

ロゴデザイン
しらたきなべ

表紙、P2-P4、P10 撮影:若林唯人

発行
フリースタイルな僧侶たち編集部
〒600-8305
京都府京都市下京区東若松町795-2 SOLUM 1F C号室
TEL:050-5583-4330
FAX:050-3730-9864
info@freemonk.net
<http://www.freemonk.net>

© 2016 フリースタイルな僧侶たち 禁断転載
乱丁・落丁はお取替えいたします。